

## 北海教区報告 胆振東部地震および9月5日台風被害 ④

揺れの強かった地域では、余震が続いて不安な中にあります。電気もほぼ復旧しましたが、まだ一部停電、断水が続いている地域もあります。大変な中での各教会、関係学校、幼稚園、センターからの報告に心から感謝いたします。皆さまに9月8日時点での情報をお知らせいたしますので、明日の礼拝の中で、それぞれの場所においてお祈りください。

### ◎道北地区

【稚内、名寄、興部、和寒、旭川六条、旭川星光、美馬牛福音、留萌宮園、道北クリスチャンセンター】

※全教会、安否確認済み。今のところ、特に建物の被害報告はなし。ただし酪農家の皆さんの中には搾乳ができず損失が出ている。

### ◎道東地区

【北見望ヶ丘、置戸(おけど)、釧路、中標津、帯広、新得】

※全教会 安否確認済み。特に建物の被害報告はなし

※中標津伝道所のメンバーに酪農家がおられ、停電のため搾乳が難しい状況にある。雪印の中標津工場がまだ運転を再開できず、牛乳の受け入れをしていない。この間搾乳した牛乳は廃棄しているため、経済的な損失が出ている。9日には工場が運転を再開する見通しである。

### ◎石狩空知地区

【滝川二の坂、美唄、岩見沢、栗山教会、江別教会、野幌】

※全教会 安否確認済み。現状、建物の被害報告はなし。

※芦別祈りの家は、9月7日に齋藤開牧師が確認してくださり、見たところ大きな問題なしとのこと。

### ◎札幌地区

【札幌北光、札幌、札幌中央、西札幌、十二使徒、月寒、厚別、東札幌、真駒内、札幌元町、麻生、札幌北部、琴似中央通、札幌富丘、手稲はこぶね、新発寒、北広島、北海道クリスチャンセンター】

※全教会 安否確認済み。現状、建物の被害報告はなし。

### ◎後志地区

【小樽聖十字、小樽公園通、小樽、手宮、余市、岩内、倶知安】

※全教会 安否確認済み。現状、建物の被害報告はなし。

### ◎苫小牧(とまこまい)地区 ※今回の震源に最も近い地区

【島松、千歳栄光、苫小牧弥生、幌泉、浦河、元浦河、室蘭知利別、洞爺湖】

※全教会 安否確認済み。

※島松伝道所 9月5日の台風で、会堂の古いトタンの部分の屋根が飛ばされた。修理が必要。

庭の大木(4本)が根元ごと倒れたが、車道や隣家への影響がなかった。

※9月8日、千歳栄光教会の内部の壁や基礎などに亀裂や隙間を発見した。重大な破損かどうかは現状では判断つかず。専門家に診断してもらう方向である。

### ◎道南地区

【八雲、利別、函館、七飯、函館千歳、江差、渡島福島、三愛畜産センター】

※全教会 安否確認済み。

## ◎関係キリスト教学校、幼稚園、保育園

### 【北星学園大学】(札幌市厚別区)

※後期の授業開始日を9月18日(火)からに変更した。

### 【北星学園女子中学校】(札幌市中央区)

※9月10日より再開予定。

### 【北星学園余市高校】(余市町)

※9月8日より再開。今のところ生徒の被害報告はなし。5日の台風で、古いプレハブの屋根が破損したが想定内の出来事であった。

### 【北星学園大学附属高校】(札幌市厚別区)

※9月10日、午後から再開予定(生徒はテスト期間のため午後のみ)。今のところ、生徒の被害報告はなし。10日から計画されていたキリスト教学校同盟の新任研修は中止となった。

### 【酪農学園大学】(江別市)

※5日の台風で大木が倒れる被害が出た。江別市は8日午前1時42分に学園全域の停電が復旧し、学園内の電気・水道・学内ネット環境等のインフラが回復した。大学と学園は9月10日(月)から通常の勤務。大学では飼育動物、動物病院、農場、実験などがあるため、休むことのできない仕事もあり、発電機を使って非常用の対応をした。停電によって連絡が満足に取れないため、情報を共有できず、苦勞をされた教員も多くおられた。

### 【とわの森三愛高校】(江別市)

※10日(月)教職員休養のための休暇、11日(火)職員会議、再開準備日、13日(水)大掃除、全校礼拝から学校再開。札幌や苫小牧など揺れが激しい地域から通う学生がいるため、配慮が必要。

### 【遺愛学院女子中高】(函館市)

※台風と地震の影響で、9月5日～8日までの休校。校舎や生徒に関しては、今のところ人的物的に大きな被害の報告はなし。

### 【幼稚園、保育園】

※地域によって対応は異なるが、多くの地域で停電が解消されたため、受け入れを開始している園もある。

## ～特に、地震の揺れが強かった地域の教会・伝道所の皆さまへ～

■今のところ、北海教区内の教会の建物に大きな被害が出ているとの報告は上がっておりません。ただし、本日、比較的建築年数が新しい千歳栄光教会では建物基礎や内壁にひび割れや隙間が発見されました。重大な破損かどうかはわかりませんが、今後、念のため専門家に診断してもらうことを検討しておられます。

今回の地震で揺れの強かった地域に立つ教会・伝道所の皆さまには、特に建築年数の古い年数の建物は、落ち着かれたら念のため専門家に診断してもらうことをおすすめいたします。

専門家に診断してもらうとなると、経済的な負担が発生いたしますが、それについても教団への募金の呼びかけなどを通じて対応したいと考えていますので、教区幹事までご相談ください。